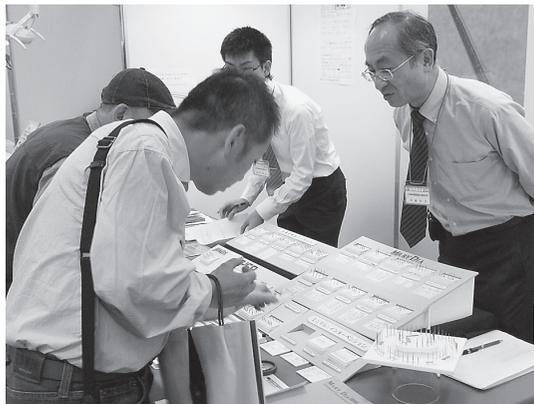


協同組合まつり

2550人でにぎわう

震災チャリティー企画など好評



協同組合まつりで品定めする参加者  
19日、マイドームおおさか

第34回保険医協同組合まつりが10月8〜9日、マイドームおおさか(大阪市中央区)で開かれ、2日間で組合員ら延べ2

550人が参加した。医科・歯科材料の特売コーナーや、有名菓子店が並んだスイーツコーナーが人気を集め、にぎわっ

た。今年の組合まつりは、東日本大震災チャリティー企画として、シャーナリストの西谷文和氏が



親子間継承の注意点、第三者継承の事例から見る問題点、新規開業との比較など、押さえておくべきポイントを話す猪川昌史氏=8日、マイドームおおさか

「原発と利権の構造」のテーマで講演した。岩手県立高田病院の上野正博医師が被災地医療の状況を、東京歯科保険医協会の森元主税副会長が医療支援活動をそれぞれ報告した。陸前高田市支援連絡協議会のTシヤツ販売コーナーなども注目を集めた。

イベントステージでは、バイオリン奏者の

大阪市南部地区は10日、「歯科における嚙下内視鏡の活用」をM&Dホールで開き、31人が参加した。

講師の野原幹司氏(大阪大学歯学部付属病院・顎口腔機能治療部医長)は、内視鏡だけにとまらず嚙下障害全般について、豊富な症例や内視鏡

北島佳奈さんや、クロマチックハーモニカ奏者の南里沙さんらが登場。協同組合創立40周年特別企画では、世界各国のワインや日本酒などを飲み比べするプレミアム試飲会を隣接ホテルで開き、参加者はテイスティングを楽しんだ。

継承・新規開業セミナー開く  
協会は、医科協会・組合と共催で継承・新規開業セミナーを組合まつり会場で開いた。日本医療総研の猪川昌史氏が講師を務め、新規開業時の事業計画や親子間継承の注意点などを解説した。

大阪市南部・東部・北部地区は10日、オータムセミナー「野田新政権でどうなる?医療・社会保障の次期改定にもふれて

新内閣の医療政策を解説  
大阪市南部・東部・北部地区は10日、オータムセミナー「野田新政権でどうなる?医療・社会保障の次期改定にもふれて

次期改定や一体改革で  
期診療報酬改定の動向について解説した。戸井氏は、「社会保障と税の一体改革は社会保障費の給付削減と未曽有の国民負担増を招く」と強調。外来受診時定額負担や70〜74歳の窓口負担を1割から2割に引き上げるなど新たな患者負担増が画策されていることを紹介し、一体改革の撤回を求める協会の政策を説明した。

また、次期診療報酬改定については、中医師協の改定にむけた今後の検討スケジュールなどを提示しながら、主な動向を解説した。

戸井氏は、協会のこれまでの地道な運動が、口腔保健法の成立につながっていることを紹介しながら、現在取り組んでいる「保険でよい歯科医療」の実現にむけての署名など協会活動への協力を呼びかけた。

春夏秋冬

保険でよい歯科

「いい歯と健康」市民講座が入れ歯の日の10月8日、震災復興に揺れる宮城

歯科改善願う声の結集を

県(仙台市)で開かれた。この企画は、保険でよい歯科

医療を全国連絡会が少しでも被災者の役に立ちたいと企画し、地元保険医協会の協力を得て、多くの市民が参加し、盛況のうちに幕を閉じた。この運動を反映して、宮城県では

兵庫連絡会が「食生活

この運動は、さらに広がりをみせている。

全国的な運動の広がりには、保険でよい歯科医療の実現を求める自治体意見書の採択状況にも表れている。同意見書を採択した自治体は11県議会528市区町村に及び、自治体の

東日本などの各放送局や、朝日・産経・毎日などの各新聞社といった大手マスコミがこぞって後援に名を連ねた。

「保険でよい歯科医療」と歯の健康」をテーマに9日、大阪連絡会が「いのちの食育」をテーマに16日、市民講座を開催し、多くの参加者で成功している。東

京連絡会は、毎年恒例の「いい歯デー」宣伝を11月6日に浅草で開催するため、準備を進

「保険でよい歯科」連

30・2%となった。採択されていない自治体でも会派要請が繰り返されるなかで「全身を健康に保つために口腔内の健康を維持することが重要」との認識が、多くの地方議員に広がっている。

保険でよい歯科医療を求める運動は、全国規模で広がっている。全国保険医団体連合会は、イレバデー(10月8日)からいい歯デー(11月8日)までの1カ月間を「保険でよい歯科医療」運動の強化期間とし、今年30日の全国歯科決起集会を大きな節目として、患者負担の大幅引き下げや診療報酬の改善を求める声を結集する。



VEの利点を解説する野原幹司氏=10日、M&Dホール

VEの実演交え講習  
嚙下診断と誤嚥予防を解説

野原氏は、嚙下内視鏡検査(VE)では、「摂食嚙下の改善とその維持」「誤嚥の予防」を診査・診断でき、利点として①在宅、ベッドサイドで行える②食事の状態を観察できる③唾液の貯留状態を観察できる―この

の実演も交えながら解説し、嚙下分野における歯科の重要性について話した。

安易な内視鏡検査は危険を伴うため、野原氏は自ら指導するNPO法人「摂食介護支援プロジェクト」での嚙下診断や内視鏡の術式などのセミナーを紹介し、嚙下について知識・経験を深めて欲しいと締めくくった。

同氏は、「歯科医はVEの所見をどのように患者、家族に伝えるかが重要である」と述べた上で、VEにより食塊形成が不良なことが判明したら食事改善などを指導することで誤嚥防止につながる」と強調した。

となどを挙げた。

野原氏は、嚙下内視鏡検査(VE)では、「摂食嚙下の改善とその維持」「誤嚥の予防」を診査・診断でき、利点として①在宅、ベッドサイドで行える②食事の状態を観察できる③唾液の貯留状態を観察できる―この

大阪市南部・東部・北部地区は10日、オータムセミナー「野田新政権でどうなる?医療・社会保障の次期改定にもふれて

新内閣の医療政策を解説  
大阪市南部・東部・北部地区は10日、オータムセミナー「野田新政権でどうなる?医療・社会保障の次期改定にもふれて

次期改定や一体改革で  
期診療報酬改定の動向について解説した。戸井氏は、「社会保障と税の一体改革は社会保障費の給付削減と未曽有の国民負担増を招く」と強調。外来受診時定額負担や70〜74歳の窓口負担を1割から2割に引き上げるなど新たな患者負担増が画策されていることを紹介し、一体改革の撤回を求める協会の政策を説明した。

また、次期診療報酬改定については、中医師協の改定にむけた今後の検討スケジュールなどを提示しながら、主な動向を解説した。

戸井氏は、協会のこれまでの地道な運動が、口腔保健法の成立につながっていることを紹介しながら、現在取り組んでいる「保険でよい歯科医療」の実現にむけての署名など協会活動への協力を呼びかけた。

資源問題では、消費税が社会保障目的の税化された場合、増税がいやなら社会保障はあきらめるかという逆立ちした論議が展開されることになると指摘した。

また、次期診療報酬改定については、中医師協の改定にむけた今後の検討スケジュールなどを提示しながら、主な動向を解説した。

戸井氏は、協会のこれまでの地道な運動が、口腔保健法の成立につながっていることを紹介しながら、現在取り組んでいる「保険でよい歯科医療」の実現にむけての署名など協会活動への協力を呼びかけた。

歯科医院の売買ならさくらハウスへ

売却物件募集

内装付き歯科医院を探されている先生方から多数問い合わせがございますので売却予定がございましたら是非当社にお任せ頂けるよう御願いたします



売買物件募集中

収益物件(賃貸) 6000万円  
門真市栄町 利回り満室時約13.3% 現況12.1%  
全19室 全室角部屋  
京阪本線 門真市駅 徒歩5分  
売り物件(大東市) 4000万円 土地建物付き  
年収3000万円 四条驛駅 徒歩5分

(有)さくらハウス 大阪府知事免許(04)043403号 担当:平石  
大阪市城東区東中浜1-12-15 TEL 06-6170-8880 FAX 06-6170-8980